

地域の将来像:住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

# コミュニティだより

2026.9.15  
第88号

明日の小山田を考える会の目的は、  
住んで良かった・ずっと住み続け  
たい・住み良い地域を創ること  
です。そのためには、地域の皆さんの  
積極的な関わりが必要です。

## 一致団結、優勝目指して大奮闘



隔年の行事となっていた小山田地区の運動会は、新型コロナ感染症の拡大や台風の影響等で開催できずにいましたが、やっと今年7年ぶりに開催できました\(^o^)/6月から大会役員や運営委員の選考を開始し、7月に準備会議をするなど、当日に向けて準備を進めて来ました。開催当日の8月30日は早朝から雨が降り出したため、東和体育館に会場を変更しました。9種目のうち7種目を4つの行政区

対抗とし、残りの2種目をオープン参加の「〇×クイズ」、未就学児を対象とした「幼児レース」を取り入れ、小山田地区民全員が参加出来るようにし競技を楽しみました。三人一組で棒を持って競う「台風の日」では棒を折るチームが続出し、最終的には三人が手を繋いで走るルールにするなど盛り上がりました。また、最終種目の行政区対抗リレーでは、足の速い強者達が揃い、さらに大会を盛り上げてくれました。第11回運動会優勝は第2行政区でした。



床でボールの方向が定まらず四苦八苦した「グラウンドゴルフレース」



元氣よく選手宣誓をした菊池大翔君(第3)



棒が折れるアクシデント発生の三人一組で競った「台風の日」



来賓も参加し競技が盛り上がった「ビンつりレース」



大勢の子どもが参加した幼児レース「宝探し」



なかなか背負ったかごに入らなかった「ナイスキャッチ」



大会を盛り上げた対抗リレー

男女ペアで二人三脚

# 歴史講座「田瀬の歴史」を学ぶ



菅原会長(左)と佐藤事務局長(右)

7月7日、教育振興部「きぬかわカレッジ・歴史講座」を開催しました。今回、「田瀬ダム」の歴史」と題して田瀬振興センターにお邪魔し、田瀬地域コミュニティ会議会長の菅原勇一さん、事務局長の佐藤松雄さん、その当時の事を知る地元

の佐々木ヨシさんからお話を聞きました。田瀬ダムは国直轄施工第1号として昭和16年に着手しましたが、太平洋戦争により中断しました。カスリン・アイオン台風により計画を見直し、昭和29年に完成したそうです。ダム建設前の世帯数は278戸、内163戸が湖底に消えたとの事です。そこに住んでいた人は地元に残ったり、他の市町村や県外などに移転先を決めたそうです。地元には61戸、東和町内に12戸、その中で2戸が小山田に移住しています。国策に協力したとはいえ、「将来ダム関係の話をする時に、故郷『田瀬』の事を懐かしく思い出せるのではないかと、屋号だけは残していきたい」と感じたそうです。佐々木ヨシさんは「時は流れ、あれから72年、老いる程に昔の田瀬を思い出します。」と話してくれました。2階の資料室には当時の家の写真が展示されていました。東和の歴史を紐解いていく事も楽しく感じました。今回の生涯学習では田瀬の皆さんをはじめ田瀬地域コミュニティ会議の役員・事務局の皆様には資料の作成や会場の設営等にご協力を頂き感謝申し上げます。また、田瀬ダムのおかげで、当地の水田が満たされていることに感謝しなければなりませんね。



## 森林ふれあい学習と松ぼっくり工作



教育振興部ハンドメイド交流事業「森林ふれあい学習と松ぼっくり工作」を八幡平市の岩手県民の森で7月19日に開催しました。一部の地域の資源回収と同日となり、参加児童が少なかったのが残念でしたが、多くの一般の方々の参加をいただきました。



今回は今までと違い、決められた作品を作るのではなく、松ぼっくりやどんぐり・小枝等、数多くの材料から自分好みで組合せ、完成品をイメージしながら進めていく工作でした。最初はどんな作品にしようかと戸惑っていましたが、イメージが出来ると思い思いに材料を集め、最後には素晴らしい作品を作り上げていました。子供に付き添っていたお母さんたちも我慢できず、自分も作りたくなり参加する方もいました。制作中の親子の作品のイメージの格闘も面白かったですよ。皆さん素晴らしい作品が勢ぞろいしました。帰り道、滝沢市のビックルーフで昼食を取り帰路につきました。



## かけっこ教室、今年も多くの児童が参加 part2



6月6日からスタートした教育振興部「まほろばの郷かけっこ教室」は回を重ね短距離走の指導が8月8日をもって終了しました。3回目の6月27日と4回目の7月11日は日居城野陸上競技場で開催しました。普段走りなれている小学校のグラウンドや旧小山田小学校グラウンドとは違って、タータントラックは滑りにくく弾力性があり運動能力を生かせる事もあり、参加した児童は思い切り走り回っていました。他の団体や中学生・高校生も練習していることもあり、指導者の尾芝コーチからの注意事項を守り練習に励んでいました。50m走のタイムを計りましたが、土のグラウンドとは違い、タイムは速かったですね。短距離走最終日の8月8日は旧小山田小学校グラウンドに戻り、速く走るためのスタートの仕方や、走っている時の基本や姿勢を確認し、練習の成果を見るため、50mのタイム測定をしました。ほとんどの参加者はタイムが縮まり、成果に満足していたようです。

6/27・7/11 日居城野陸上競技場

8/8 旧小山田小学校グラウンド



## 環境にやさしい野菜栽培に挑戦を

産業振興部地域農業研修事業「楽しい家庭菜園」を紫波町日詰の佐藤政行種苗にお越し頂き、今年の秋野菜(秋ダネ)のおすすめ品種と栽培方法や栽培時の注意事項の説明・指導をいただきました。育苗ポットからの移植や、株芽の間引きをするときの注意事項などの説明を聞き、参加者から「大変参考になった。」との声がありました。また、日ごろ野菜栽培を

しての疑問や困っていることなどの質問が寄せられました。

ま～、皆さんの悩みはほぼ同じでしたね。その後屋外で実技として、農業資材のゴミ削減のために使用されるようになった“ジフィーポット”



を使用しての育苗方法について学び、「農作業の軽減にもつながる。」と参加者は話していました。

# 皆さんのその行動が皆さんの命を救う



新型コロナウイルス感染症の拡大や、大雨により開催を中止するなど、7年ぶりの開催となる8月30日の運動会に備え、救命救急講習会を花巻中央消防署東和分署の佐藤分署員を講師としてお招きし、「普通救命講習Ⅰ」を振興センターで開催しました。今回再受講者3名を含め6名の方が受講し、それぞれ修了証が交付されました。令和4年から受講者を募り、今回を含め26名の皆さんが修了証を受け取っております。令和7年の花巻市の救急

出動件数は4,492件です。救命救急の基本を学ぶことにより

家庭内ではもちろんの事、地域や職場など多くの場所で命を救う事が出来ます。皆さんも機会がありましたら受講をお勧めします。皆さんのその行動が多くの命を救うことが出来ます。



## 《お知らせ》



9月5日を皮切りに、小山田地区の各行政区自治会で「敬老を祝う行事」が開催されました。小山田地区の今年8月1日現在の75歳以上の人数は男性144名、女性201名の合計345名なそうです。ちなみに、100歳以上は男性0名、女性5名で最高年齢は102歳だということです。ちなみに、男性の最高年齢は97歳です。

皆さん、いつまでもお元気で、地元で末永く元気に暮らしてください。高齢者はもとより、子供も、そして地域で暮らしている皆さんが、この小山田地域の宝物です。おめでとうございます。



令和8年8月末現在

( ) : 前月比

| 小山田の人口 | 世帯数/戸     | 男/人       | 女/人       | 計/人         |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 第1行政区  | 54 ( 0 )  | 76 (-1 )  | 63 (-1 )  | 139 (-2 )   |
| 第2行政区  | 145 ( 0 ) | 170 (-1 ) | 176 ( 0 ) | 346 (-1 )   |
| 第3行政区  | 152 (-1 ) | 174 ( 0 ) | 203 (-1 ) | 377 (-1 )   |
| 第4行政区  | 114 ( 1 ) | 160 ( 0 ) | 160 ( 0 ) | 320 ( 0 )   |
| 計      | 465 ( 0 ) | 580 (-2 ) | 602 (-2 ) | 1,182 (-4 ) |

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



スカシユリ (透百合)  
中川目地内/ R8.7.6撮影

## ～私のひとり言～

先日「じゃらんニュース」で2026年3月13日時点で登録されている全国の道の駅(1231駅/未開業含む)を対象としたアンケート調査を基に、2026年全国道の駅グランプリが発表されました。全国8エリアそれぞれ満足度トップ10にランクインした施設の過去3年以内(2023年4月～2026年3月)に利用した施設の中から、「満足した・良かった」と感じた道の駅を、47都道府県在住の20代～50代男女4239名に3つまで選んでもらったそうです。1位は、群馬県の「道の駅 川場田園プラザ」で昨年に続いてトップの座をキープ。2位は、宮城県の「あ・ら・伊達な道の駅」で昨年の5位からアップ。3位は、岩手県の「道の駅 遠野風の丘」で昨年より順位をひとつ上げる結果となりました。近隣する2施設がランクインしているので、ぜひ行ってみてください。私は今年、山田町の「やまだ・おいすた」と盛岡市の「もりおか渋民」に行ってきました。地域特有の食や文化、風景に出会えるため、「立ち寄る場所」ではなく、「旅の目的地」として訪ねるのも良いですよ。(菊池)

発行 : 明日の小山田を考える会 ・ 電話 : 0198-42-2941  
ホームページ : <http://www.asuno-oyamada.jp>  
メールアドレス : [asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp](mailto:asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp)

